



第12号

出藍

令和元年9月1日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

埼玉県立豊岡高等学校

同窓会 会報編集委員会



私の部活

同窓会長

木下

博

私の豊高生活は、昭和二十年から二十六年までの六年間で、戦時の体験から戦後の混乱期まで豊實、豊実高と苦楽を共にしたことになります。今号では部活特集が組まれましたので、私も部活の思い出を書かせていただきます。戦中戦後の部活動は休部（状態）そして復活の歴史を辿ったこともあって、私が在校中は、対外的には見るべきものは少なかつたように思います。現在の華やかな部活とは比べようのない困難な状況の中で、部員達は部活に打ち込める幸せと喜びを胸に、体育祭、文化祭を問わず、母校の名誉と自らの夢の実現に向かって汗を流していたのではないかと思います。

さて、私の部活は少しだけ係

わった野球部と、中途半端な文芸活動ということになるのでしょうか。特に野球部は、比較的肩の強かった私が、野球部員の目に止まり、半強制的に入部させられたように記憶します。数ヶ月間破れボールでノックの洗礼を受ける中、たあいの無い出来事に巻き込まれて退部を命ぜられた苦い思い出があります。文芸部は自らの意思で入部しましたが、あまり活動の意欲も沸かず悶悶とした日々を送っていました。クラスメートも何人か入部していましたが、やはり同じ状態のように見受けられました。そこで、当時全国的に活発化しつつあった学校新聞について種々議論を重ね、発行に向けての強い意志を確認し合いまし

た。直ちに学校側と交渉、節度ある新聞の条件をつけて認可されました。発起した仲間は何人であったか定かではありませんが、私が発行人、同級生の渋谷蔵司君が編集人となって「豊高新聞」は動きだし昭和二十五年私達の夢を載せた第一号を発行することができました。ここで特筆すべきことは、先輩方が築いていただいた地域との信頼関係によって広告収入が確保できたことで、伝統校ならではの地域との強い絆を実感することができたことでした。

私達の活動は実質的には一年でしたが、後輩の皆さんの努力によって、信頼される豊高新聞として発展して来たことを大変嬉しく思っています。

特集 豊高保管史料をひも解く**『豊高新聞』の記事に見る****いにしへの部活動****（昭和25年、昭和34年編）**

『豊高新聞』は、昭和二十五年に創刊され、平成六年頃まで新聞部の生徒達によつて定期的に発行されていた学校新聞です。その紙面からは、各時代の学校の様子が活き活きと窺い知れ、現在では、過去の豊高を知る貴重な史料となっています。ここでは、豊岡高校に残されている『豊高新聞』から、部活動に関する記事をピックアップして、かつての興味深い部活の様子をご紹介します。

珠算部の近況

伝統深く、全国珠算連盟理事森田先生を戴く珠算部も校友会各部と同様、新学期より活発に活動し始めた。新年度に当たつて新たに部員を募集した所百五余名の応募者を受けて本校クラブ中一番の大世帯となり、部長も嬉しい悲鳴をあげている。〔第三号（昭和二十五年五月十二日）より〕

豊高の珠算部の歴史は

古く、戦前の実業学校時代の卒業アルバムにも活動中の写真が残されています。この記事が出た当時は、地域の産業構造の変化と合わせ、商業に関する知識・技術を習得したいという生徒達の要望が高まっていました。珠算部が当時、学校の中で最多人数の部となったのは、そうした要因があったからと考えられます。

応援団結成す**国歌も近々作成か**

日増しに盛んになって来た運動部の熱意に応うべく又これからますます激しさを加えるスポーツシーズンに際し選手達のかげの力となり選手として十分に活躍せしめ運動豊岡の名声を校外に発揚せんと云う意図から応援団設置の声が高まり実現がほぼ確定となって来た。〔第十一号（昭和二十

六年六月二十九日）より〕

豊高の応援団は当初、各学級から委員を募る委員会制で組織・運営されていきました。その後、昭和三十年に生徒有志による運営へと変わりますが、昭和三十七年より再び各学級から委員を選出する方式に変更されました。この時設定された団則によれば、豊高の生徒会委員は全て応援団員とする事が定められており、事実上、豊高の全ての生徒が所属していました。

以来、団員の強い結束のもと、活動に励み、野球応援等において力強く活躍する姿は、永らく豊高の「花形」でした。彼らの振りがさす巨大な応援団旗や、力強い応援歌、厳しい後輩指導などを記憶する同窓生も少なくありません。しかし、時代の変遷と共に応援団の活動は縮小し、平成十二年頃を最後にその活動は終了しました。

音楽部の夢実現**第一回音楽会**

音楽部設置及びピアノ購入以来の懸案だった第一回音楽会がピアノ披露会を兼ね十一月三十日午後一時から講堂に於て行われた。会は校長先生の挨拶に始まり演奏の部に入つては合唱に独唱に又中に粕谷先生の演技もまじえて日頃きたえた腕を発揮した。〔第十四号（昭和二十六年十二月十三日）より〕

豊高の音楽部は昭和二十五年に設立されました。同年四月の女子農村家庭科設置により入学した女子生徒達も多く活動に加わり、華やかな部活だったようです。この記事が出た年には、生徒達の要望を受け、それまでオルガンしかなかった学校にグランドピアノが導入され話題となりました。音楽会の開催は、そうした学校の明るい変化を教えてください。



音楽会の様子（昭和28年頃）

文芸部批評会

去る十日より文芸部では「おちぼ」第五号の批評会を図書室に於いて、約二十名の参加者を得て行われた。本号は前号に比較して内容的には相当進歩した様に見受けられた。「第十八号（昭和二十七年七月十八日）より」

豊高文芸部も歴史のある部活動で、戦前の実業学校時代の卒業アルバムにも既に活動写真が掲載されています。戦後は昭和二十年代より文芸誌

『おちぼ（落穂）』を定期的に刊行し、飯能高校・所沢高校・聖望高校など近隣高校の文芸部員達と合同で作品批評会を実施するなど活発に活動をしていました。文芸誌『おちぼ』は文芸部（のちに同好会）が活動を終える平成十六年頃まで発行されていました。

秘められた本校野球部創設挿話

本校の野球部は昭和三年頃（編集者註「十三年頃」の誤りか？）迄の間は県下は勿論北関東、関東球界に覇を唱え黄金時代を表したがこの野球部創設の動機に面白いエピソードがある。豊岡実業学校の名を冠する以前の豊岡農学校と云われた時代には校長近藤義雄先生以下人知れぬ苦勞をし生徒募集難のため一時は廃校の危機にさらされた程だった。この苦難も当時の名衆院議長粕谷先生等

の御尽力で豊実の名で更生する事になった。とは云え生徒募集難は依然として続いた。この頃校長室を訪れた当時の東京日日新聞記者だったMさんに対し近藤校長は生徒募集につき「名案を教えてください」と頼んだ。

（…中略…）

「Mさんは」「野球部を設けたらよろう」と答えた。この頃六大学では早稲田の小川、慶応の宮武両投手の対立時代であったがMさんは以上の様な答弁をしたものと思われる。この答弁を聞いた近



県大会優勝時の野球部（昭和10年）

藤校長も偉かった。即座にそれは名案だ。丁度滋賀県膳所（ぜいそ）高校の野球選手だった横路先生が本校に居るからすぐ生徒のテストをさせようと翌日豊岡小学校野球部からグローブとボールを借りてチームを編成した：「第二十三号（昭和二十八年四月二十七日）より」

豊高の前身、豊岡実業学校の野球部は、戦前の部活動の中で特に華々しい活動をした部でした。最も有名な試合が、昭和十一年七月十一日に実施された全国中等学校優勝野球大会（甲子園）埼玉県予選における対松山中学（現松山高校）戦です。この試合で豊実 は七十二対〇で松中を降し、日本の高校野球における最多得点記録として長らく語られる事となります。この記事にはそんな華々しい活躍をした豊実野球部が、実は生徒募集の為に設立されたという

興味深い内容が示されています。

柔道部の新設なる

兼ねてから柔道部設置運動が展開されてきたが、十二月十五日の生徒総会に於いて多数の賛成を得、正式に柔道部が承認された。「第二十八号（昭和二十九年一月九日）より」

豊高の柔道部は昭和二十七年頃から部活設立に向けた動きが活発となったものの、部の設立がなかなか認められず、有志達による愛好会という形



柔道部の生徒達

で練習を続けていました。この記事が出た当時は愛好会ながらも複数の有段者を抱え、他校との試合も行っていました。正式な部として認められた柔道部は、その後様々な大会で多くの好成績を残しました。

農商兼修を如何に思うか 第七回弁論部主催討論会 行わる 兼修反対の色濃し

かねてからの話題となつていた本校の「農商兼修問題」は生徒間に於いても次第に慎重に考えられるようになり、去る四日（土曜日第四時間）の弁論部主催第七回討論会にこの問題がとりあげられ、二年の大野修君、神山善雄君、一年の岩崎和子さんの三名が講師となり、「農商兼修を如何に思うか」と題し、一時間に亘る厳正批判が行われた。「第三十四号（昭和二十九年十二月二十

日）より」

弁論部は昭和二十年代中頃より部としての活動を始め、近隣市町村や埼玉県の弁論大会へ度々出場するなど、積極的な活動を行っていました。校内弁論大会は弁論部が生徒に呼びかけて実施していたもので、取り上げるテーマは、学校や世相を真剣に考えるものでした。「農商兼修」は農学科と商業科を分けずに両方を学ばせるという戦前から続く学校の伝統的カリキュラムでした。しかし、記事の内容を読むと、兼修を廃止し、農学科と商業科を分離してほしいという意見が賛成多数となつていきます。世の中の産業構造が変化し、生徒の進路も企業等への就職や進学へと移る中で、見直しを求める声が高まっている様子が読み取れます。

映画鑑賞会行う 映研部主催

去る十月十七日（月）映研部主催映画鑑賞会が豊岡座に於いて二時三十分より行われた。

まず「怪人二十面相」続いて「少年死刑囚」が上映された。これはあらゆる人々が秩序と道徳とを無視し、ふみにじって生きて行かねばならぬような世の中を、失意の少年が歩んでいく悲境さが描かれている。「第四十一号（昭和三十年十月二十五日）より」

映研部（映画研究部）は昭和二十六年に設立された、名作映画の鑑賞と批評などを行う部でした。昭和二十年代後半から三十年代初頭には同部主催の映画鑑賞会が度々開催されており、映画が大きな娯楽だった時代を感じさせます。記事中に登場する「豊岡座」とは扇町屋にあった地元の映画館で『豊高新聞』に広告を掲載していた時期もあります。ちなみに「怪人二十面相」は昭和二十九年放映の松竹作品、「少年死刑囚」は昭和三十年放映の日活作品でした。

新クラブ長抱負を語る 目標は全国大会出場へ

卓球部 内沼幸一

実力にものをいわせ新人戦に優勝した貫井君をはじめ我々卓球部は昨年に引き続き団結、技術的向上、スポーツマンシップを念頭によりいっそうの活やくをし我々卓球部の発展を祈りつつ一同張りきって練習に精進いたしております。

（…中略…）

さて今年の抱負としましては、県民体育大会、生徒総合体育大会には多数の最上位入賞を又昨年に引き続きなんとかしてチーム戦、個人戦、ダブルスに晴れの関東大会、全国大会の夢を実現させたいと思っております。「第五十二号（昭和三十三年三月十日）より」



卓球部の生徒達（昭和32年頃）

昭和三十年代当時、豊高の卓球部は毎年輝かしい成績を収めており、県下の強豪校に数えられていました。記事中に名前のある貫井選手は昭和三十三年一月に開催された県下卓球新人大会で優勝しており、同じ年の六月に開催された県大会個人戦において優勝。全国大会へと出場しています。こうした活躍に刺激を受けた部員たちの意気も高く、卓球部はその後も関東大会やインターハイ出

場を勝ち取り、歴史に残る活躍をしました。

クラブ活動紹介

新部長抱負を語る

目標は全国大会出場 今年も期待される長距離陣

陸上部 笠原和之

昨年度は最上級生の競技部員不足で諸種の重要な競技大会がひかえていたにもかかわらず入賞が少ない低調さで県外へは駒を進める事が出来ず思う様な成績を収める事が出来ませんでした。反面冬季の駅伝シーズンには各大会に二年生中心のメンバーで県内、県外に出場し、かなりの成績を収めその名を轟かせました。そこで今年度は三年生の部員が多く、三年生を中心として、県内の大会に入賞、関東大会、全国大会への出場者が多数生まれるよう、高い目標を持ち、春から秋のトラックシーズンには必ずフィールドの跳躍、投擲陣の強

化も加えて高い目標に向かって進む覚悟であります。「第六十七号（昭和三十四年四月十日）より」

卓球部と並んで昭和三十年代以降輝かしい成績を収めていたのが陸上部でした。特に長距離分野での活躍が目覚ましく、この記事が出た昭和三十四年の一月には、秩父一浦和間で開催された第二十六回読売杯争奪埼玉駅伝大会において、一区を走った落合選手が区間新記録を出すなど各選手が健闘し、最終的には第二位という記録を残しています。落合選手はその後、昭和三十四年の埼玉県学徒総合体育大会の五千メートル走で準優勝となり、関東大会へ進出、関東大会でも五位と健闘し、国体出場を果たしました。

校内で洗濯屋

家庭部の奉仕で

最近停滞気味と評され

ている家庭部では今後の活動を活発にしクラブの内面を全校生徒諸君に理解して貰おうという目的から去る六月十二日より、評議委員会の承諾を得て洗濯奉仕をはじめた。現在迄に四回行われて来たが、気軽に出来ることや速さの点等から特に運動部から好評を得ている。

「第六十九号（昭和三十四年八月十日）より」

家庭部は昭和二十八年に設立された部です。当時は女子生徒が文化的な活動を行える部がまだ無かったため、女子部員が中心となって、被服や調理といった家事に直結する活動から華道、茶道といった教養に関する活動まで幅広い活動を行って来ました。この記事で紹介されている洗濯奉仕以外にも、近隣の保育所を訪問して子供達と触れ合う活動や生徒対象の手芸講習会の開催などが実施されていきました。

輝く成果を収める農業部、各種発表会で

埼玉県学校農業クラブ

連盟主催各種発表会は九月二十八日（月）台風一

過の晴れ渡った秋空の下、羽生実業高校に於いて行われた。本校代表は十年目の悲願を果たすべく健闘した結果、やっとその宿願を果たした次のような成績をおさめた。

プロジェクト発表の部 第二位 私の繁殖養豚とその技術 二ノ一 広沢登志雄

リクリエーション発表の部 第一位 茶ツ茶小唄 大野広外十四名

この結果、第一位になった茶ツ茶小唄は去る十月九、十日千葉県立安房農業高校に開催された関東地区大会に出場し健闘した。「第七十号 昭和三十四年十月十五日」

戦前からの長い歴史を持つ豊高の農業部は、農業に関する様々な技術の習得と向上を目指す部で、

花卉班・加工班・機械班・病虫班・蔬菜班・畜産班などの班ごとに様々な活動をしていました。生徒会誌の記述などを読むと、在籍する生徒は地域の農業を支える中堅的な存在となるべく日々努力していた様子が見て取れます。この記事で紹介されている発表会では、他にもトラクター整地競技や家畜審査競技など実技的な種目もあったようです。ちなみに『茶ツ茶小唄』は茶業の際唄われた地域の流行歌の一つです。



農業部活動風景（昭和34年頃）

思い出語り

校歌・応援歌の 収録に参加して

吉野 和夫



昭和三十九年東京オリ
ンピックの年に入学しま
した。今また校歌を歌う
ことになると思いますし

ませんでした。
六月八日入間市市民会
館に於いて創立百周年記
念CD作成の収録に参加
しました。当日の

や応援歌の速さが年代に
よって異なることなど驚
かされました。特に在校
時音楽の授業を受けてい
た岡戸先生の吹奏楽を指
揮する姿に元気をいただ
きました。
今回を機に五十年振り
のクラス会が開催できた
らと思っていますところ
であります。

(昭42高卒)



参加者全員による校歌斉唱

参加者はOB・OG・現役と多彩で
したが練習を重ね
息もピッタリと合い
収録は最高の出来
であったと思いま
す。
当時「出藍の誉」
を「失恋の痛手胸
に負い」などと
歌っていたことが
思い出されました。
そして、校歌が七
番までであったこと



応援団OB・卒業生による応援歌

ティータイム



平成最後の 還暦同窓会

加藤 保夫

平成三十一年一月十九
日の土曜日の午後、昭和
四十九年四月入学（昭和
五十二年三月卒業）の二
年六組の同窓生二十七人
参加による「還暦同窓
会」が担任の井上征子先
生を囲み開催されました。

当日は、豊岡高校の正
門に集合し、若草の像の
前で記念撮影をして、そ
の後に豊岡にある「茶蔵
（さくら）」で懇親会をす
る二部構成でした。

四十年ぶりの同窓会の
ため遠くはオーストラリ
アからの参加者もいまし
た。

当時と変わらない井上
先生と体型が変わった同
級生が、時を忘れて近況
報告と昔話に花を咲かせ、



参加者全員の心がときめ
いた同窓会となりました。
また、当日井上先生は、
所沢西高校教員時代の同
僚であった現豊岡高校の
黒沢教頭先生と若草の像
の前で再会するというサ
プライズもありました。
次回同窓会での再会を
約束して、多くの参加者
は、茶蔵から二次会の居
酒屋へ向かいました。

(昭52高卒)

卒業生からの手紙



時代錯誤から学ぶもの

古武道荒木流拳法目録
岡部信司代表

岡部 信司

四十歳を過ぎてから、古武道「荒木流拳法」に出会い、甚だ時代錯誤な世界に触れて、今まで思いもなかった事を真剣に考えたというお話です。

入門の動機は実に不純で営業先の責任者が古武道荒木流拳法の伝承者であり、私は契約が欲しくて形だけ入門することになったのでした。古武道とは、発祥の歴史が古く、証明できる文献が残っているものであり当時の文化を継承する事を目的に稽古をしております。

道場に通いだして二年位の頃でした。後輩も何人か入門して来て、多少の技を覚えた私は年長者

という事もあり、後輩に技の掛け方を何気なくアドバイスをしたその時でした。いつもは温和な

先生が非常に強い口調で私を叱ったのです。四十も過ぎて、社会的地位も少しはあると思っていた私は、恥ずかしさと怒りが入り混じり、強く動揺いたしました。

叱られた理由とは一年や二年で技の本質を理解していない者が、何も知らない者に真顔で教える資格は無い。教わった者もそれが正しいと思っ

仕事を教えるのは当たり前前に思っておりましたが、曖昧で不確かな指導で後輩を迷わせたかもしれません。だってあつたかも知れません。

先生曰く―私達は命のやり取りの稽古をしているのだから教える者は正確に教える責任があり、教わる者も真剣に聞く姿勢が必要であるとのこと。真剣の本当の意味―何とも時代錯誤な発想のよう

私達が疎かにしている部分である事に四十を過ぎて気付かされました。時代錯誤ついでに衝撃的だった事の一つとして戦国時代は人生五十年と言われ、ある意味死ぬのが当たり前前の時代でした。

常には常に死に顔を想定し辞世の句を考え、華々しく、後世に名を残せるような散り方を夢に見ていたのです。だから意味の無い死に方を恥じて、犬

死などと嫌い、病気や怪我に注意し常に知識を高め、技を磨き、身体を鍛え健康管理を怠らず、いつでも最高の散り場所を逃さない努力を惜しみませんでした。

今は生きる事が当たり前前の時代です。多くの心配をせず平和に生きられる事はとても幸せな事ではありますが、明確な目標が持ちづらく、知識も健康も、時には命も粗末にしているように感じるのは私だけでしょうか。意識的に死を覚悟する必要はありませんが、高齢者に席を譲れるように足腰を鍛錬するとか、外国人に道を教えてあげられるように外国語の勉強をするとか、私達も今の時代なりの覚悟を秘めて日々鍛錬をして、令和の侍として生きてみてはいかがでしょうか。

(昭49高卒)





創立百周年を一年後に控えて

校長 町田 邦弘

鈴木前校長の後任として四月よりお世話になっております町田と申します。着任以来、木下会長をはじめ豊岡高校同窓会の皆様には大変お世話になっております。創立百周年記念事業を来年に控え、皆様から心強いご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、平成から令和へと時代が変わり、東京オリンピック・パラリンピック開催まで一年を切るなど、世の中は期待感が高まっています。大正九年に農学校として誕生した本校も、いよいよ百年の歴史を刻む時が近づいてまいりました。平成二十五年度の再編整備により大学進学重視型単位制高校として再出発してから七年目、進学実績も地域からの信頼も着実に回復しつつある本校は、西武線沿線の中で最も期待が高まっている高校の一つといえるでしょう。

今年度は三二二名の新生入生と十四名の新しい先生活を迎え入れ、空調設備工事のために文化祭を六月開催にするなど例年と異なりますが、生徒たちは真面目にそして熱心に教育活動に励んでいます。部活動では、アーチエリーと陸上の三段跳でインターハイに出場するなど成果を挙げています。

国の動きを見ると、今の高校二年生から新しい大学入試制度が始まります。また、三年後には新学習指導要領による教育課程が始まります。私は教育改革の大きな流れに乗って、勢いづいている本校を更に一歩前進させたいと考えています。

創立百周年記念事業はそのための絶好の機会であると捉え、何としても盛り上げ、成功に導かなければならないと思っています。同窓会の皆様には、既に創立百周年記念事業実行委員会において準備を進めていただいておりますが、この事業が学校のみならず同窓会組織の活性化にも繋がることを願っております。

豊岡高校の輝ける未来のために、今後とも本校生徒及び教職員に対し、皆様からの変わらぬご支援と激励を賜りますようお願い申し上げます。

進路指導部より

平成31年度入試の結果をお知らせします。
入学定員の厳格化により、私立大学は例年に増して非常に厳しい結果となりましたが、国公立大学では、現役生の中から4名の合格者が出ました。(浪人生は3名)
学校では、現2年次生からの新入試に向けた指導についても研究を重ねているところです。

平成31年度入試合合格数（過年度卒含む）

四年制大学	短期大学	専門学校 (看護医療系)	専門学校 (看護医療系除く)	就職・公務員
222	19	24	56	11

～主な合格先～

【四年制大学】

埼玉大学、秋田大学、茨城大学、鳥取大学…現役生4名合格

国公立大学…計7名合格、GMARCH大学（中央大学、法政大学）…計3名合格

日東駒専（日本、東洋、駒澤、専修）…計6名合格

その他、北里大学、芝浦工業大学、成蹊大学、武蔵大学、北京外国語大学等多数合格。

【就職・公務員】

埼玉県警、一般曹候補生…他



新同窓会員あいさつ

金子 高樹

初めまして。第六十九期生徒会長を務めました金子です。この度は豊岡高校同窓会に入会させていただきありがとうございます。よろしくお願いします。この場をお借りして私からは、我が豊岡高校で三年間過ごして感じたことをご紹介させていただきます。

我が高校の先生方は時間をかけて相談に乗ってくださったり、同じ立場に立って調べてくださったり、私もとてもお世話になりました。

また、生徒会活動でも

たくさんの方から、我が豊岡高校で三年間過ごして感じたことをご紹介させていただきます。それは我が高校の先生方は私たち一人ひとりに丁寧に相談ののっていたこと。高校生というのは将来の自分の進路を明確にする期間になります。親や兄弟に相談をしても、全く同じ受験方法ではないので先生の存在はとても重要になります。その点において

また、生徒会活動でもたくさんの方から、我が豊岡高校で三年間過ごして感じたことをご紹介させていただきます。それは我が高校の先生方は私たち一人ひとりに丁寧に相談ののっていたこと。高校生というのは将来の自分の進路を明確にする期間になります。親や兄弟に相談をしても、全く同じ受験方法ではないので先生の存在はとても重要になります。その点において

通り十人がいれば当然十通りの意見がでます。それが全校生徒となれば人数はかなり多くなります。その要望をどれほどたくさん実行できるかが重要なことを学びました。豊岡高校をより良くするためには生徒の意見が重要になるため、この点は私の後輩に任せたいと思います。

最後に、後輩となる豊岡高校の生徒さんが充実した高校生活を送れるように支援していけたらと思いますので、よろしくお願いします。

(平31高卒)

平成30年度卒業生 クラス代表

1組	井上斗湧
2組	今嶋幸菜
3組	滝春太
4組	須加菜友美
5組	大橋華海
6組	佐藤夏実
7組	佐々木亮輔
8組	石橋康太

◎ 年次代表 (同窓会理事)

部活動訪問 (第10回)

登山部

顧問 田中 孝幸

豊岡高校登山部は、これまでにも伝統ある実績を残してきました。過去の豊高新聞を繙くと、夏の合宿では南アルプス縦走など多くの山行記録が記されています。現在、4名の顧問のもと、原則として月1回、奥武蔵、奥多摩を中心に月例登山を行い、年1、2回の宿泊登山、特に夏の合宿では、北アルプス、南アルプスなど3000メートル級の山へ登っています。



部員は現在12名いますが、すべて登山は高校に入学してから始めた者ばかりで、そのため安全を最優先して活動しています。重い荷物を背負っての山行は苦しみの連続ですが、頂上に着いた時の達成感と仲間とともに登頂の喜びを分かち合う連帯感、何ものにも代えがたく、次の山行がまた待ち遠しくなっています。

(昭56高卒)

2 事務費	680,424	第11号会報印刷代、送料等
3 予備費	0	
合 計	691,424	

上記のとおり平成30年度の決算報告をいたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和元年5月27日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

3 令和元年度事業計画

(1) 会議等

常任理事会 令和元年6月21日

(2) 同窓会報の発行

第12号 令和元年9月1日発行予定

(3) 文化祭参加 令和元年6月1日

(4) 百周年記念誌の発行準備

(5) 同窓会入会式説明 令和2年3月13日予定

(6) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(7) 第72回卒業式出席 令和2年3月14日予定

(8) 賛助金の受付

・金額：一口 1,000円

・方法：ゆうちょ銀行に開設した口座に振込
名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」

4 令和元年度予算

(1) 一般会計の部（普通預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	3,200,000	10,000円×320人（元年度卒業生）
2 賛助金	100,000	1,000円×100口
3 繰入金	8,692,398	一般会計の部（定期預金）から繰入
4 雑 入	993	預金利子
5 繰越金	3,790,609	前年度から繰越
合 計	15,784,000	

(支出) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費等
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	400,000	消耗品購入費、HP作成管理料等
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	400,000	関東・全国大会等出場激励費等
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼
7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	10,000,000	創立百周年記念事業実行委員会会計へ
10 繰出金	1,000,000	同窓会報特別会計の部へ繰出
11 予備費	3,434,000	
合 計	15,784,000	

上記のとおり提案いたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(2) 一般会計の部（定額預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	17,040,268	前年度から繰越
2 預金利子	732	預金利子
合 計	17,041,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	8,692,398	一般会計の部へ繰入（定期預金を一部解約）
合 計	8,692,398	

上記のとおり提案いたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

(3) 特別会計の部

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	1,000,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	207	預金利子
3 繰越金	76,793	前年度からの繰越
合 計	1,077,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	50,000	編集委員会会議費
2 事務費	900,000	会報・封筒印刷・送料
3 予備費	127,000	
合 計	1,077,000	

上記のとおり提案いたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博

5 その他



令和元年度 常任理事会報告

過ぐる令和元年6月21日、「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」令和元年度常任理事会を開催、無事終了いたしましたのでその概要をお伝えします。

議 事

1 平成30年度事業報告

- (1) 会議等
常任理事会 平成30年6月25日
- (2) 同窓会報の発行
第11号 平成30年9月1日発行
- (3) 文化祭参加 平成30年9月8日・9日
- (4) 同窓会入会式説明 平成31年3月8日
- (5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈
- (6) 第71回卒業式 平成31年3月9日
- (7) 関東・全国大会出場選手の激励
 - ・関東高校アーチェリー選手権大会出場
 - ・関東高校陸上競技選手権大会出場
 - ・全国高校総体アーチェリー競技大会出場
 - ・全国高校総体陸上競技大会出場
 - ・全国高校総合文化祭長野大会出場（音楽部）
 - ・関東陸上競技選手権大会出場
 - ・国民体育大会アーチェリー競技出場
 - ・アーチェリー日韓交流強化事業韓国遠征
 - ・バトントワーリング関東大会出場
 - ・関東高校アーチェリー選抜大会出場
 - ・全国高校アーチェリー選抜大会出場
- (8) 同窓会会報賛助金の受付

2 平成30年度決算報告及び監査報告

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

- (1) 一般会計の部（飯能信用金庫 入間支店 普通預金）
収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
10,186,950円 - 6,396,341円 = 3,790,609円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	3,169,136	10,000円×317人(30年度卒業生)－振込手数料
2 賛助金	224,000	1,000円×224口(延べ107人)
3 繰入金	0	
4 雑 入	51	預金利子
5 繰越金	6,793,763	前年度から繰越
合 計	10,186,950	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	118,265	常任理事会経費ほか
2 慶弔費	0	
3 事務費	29,112	事務局使用料、切手代等
4 卒業生費	106,456	卒業証書ケース代
5 激励費	360,000	関東大会・全国大会等出場
6 講師謝礼費	32,508	新聞広告掲載費

7 積立金	0	
8 支援費	0	
9 周年行事費	5,000,000	創立百周年準備
10 繰出金	750,000	特別会計の部へ繰出
11 予備費	0	
合 計	6,396,341	

上記のとおり平成30年度の決算報告をいたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和元年5月27日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(2) 一般会計の部（定期預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
17,040,268円 - 0円 = 17,040,268円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	17,038,858	前年度から繰越
2 積立金	0	
3 預金利子	1,410	預金利子
合 計	17,040,268	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
繰出金	0	
合 計	0	

上記のとおり平成30年度の決算報告をいたします。

令和元年6月21日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 木下 博
上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和元年5月27日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安
埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(3) 特別会計の部（いるま野農協 東金子支店 普通預金）

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
768,217円 - 691,424円 = 76,793円

(収入) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	750,000	一般会計の部繰出金より
2 預金利子	0	
3 繰越金	18,217	前年度からの繰越
合 計	768,217	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	11,000	編集委員会費



【HP開設】

念願のホームページを開設しました。同窓会活動のご案内や母校の様子、そして同窓生・会員皆様の交流の場としてお役に立てることを願って開設しました。是非とも、クラス会や部活OB・OG会の諸連絡、その他有効にご活用下さい。

このホームページは誕生ホヤホヤです。担当者も経験不足で専門的な知識にも乏しく、掲載内容やデザインにも不備・不足が多くあることと思います。どうか忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。

またホームページ運営上、人材・機材・浄財の不足が現状です。会員諸氏のご支援ご協力をお願いできればありがたい存じます。殊に人材不足に悩んでいます。

全くのボランティアになりますが是非共お力添えをお願いいたします。事務局（会報編集委員会）宛、ご一報をお待ちしています。

【百周年】

百周年記念事業準備状況
来年度は創立百周年を迎えます。その記念事業の準備が式典・記念誌編集・記念整備事業の三部会で着々と進行しています。

私たち同窓会もそれらの部会に協力し、準備に当たっています。詳細は次号になります。①式典二部では、卒業生によるコンサート。
②約450ページに及ぶ記念誌。
③校門周辺の整備事業などが検討・準備され、去る6月8日には、校歌・応援歌の記念CD録音も行われました。

時間の経過と共にその歴史的資料（書類・思い出の品々）も散逸します。記念誌編纂の中で、それらの余りの乏しさに苦しんでいます。皆様お手持ちの豊高思い出の品々を、同窓会に寄贈して下さいませんか。小紙「出藍」で紹介させて頂きたいと思います。

報告

創立百周年実行委員長が上原みゆき氏から木下博氏に変更になりました。

【賛助金】

有難う賛助金！

昨年度の小紙発行賛助金は、総額二十二万四千円、延べ百余名に上りました。皆様のご支援本当に有難うございました。次号第13号は豊高創立百周年に当ります。なお一層の紙面の充実と、皆様のご期待に応えられるような広報紙づくりに努める所存です。本年も重ねて賛助金へのご支援をお願い致します。

編輯後記

▼縁あって「出藍」発行に携わって十年。月一回の編集会議以外にも、縁あって、華道を通じて我が子より若い生徒達と交流する機会もできました。

▼来年で百周年！この節目に、色々な面で母校と関わりを持てる日が来る事をいつ想像できたでしょう。▼この一期一会の一瞬一瞬をこれからも楽しみたいと思う日々です。（まこと）

▼今年は文化祭が六月に行われたため、小紙最新号を文化祭で配布できず残念でした。▼最近、「同窓会開催のご連絡」の中で、還暦に合わせて開催される方々が多いように感じます。母校に集合して記念撮影。それから会場に向かわれるのが定番のようです。▼私も来年は還暦。久し振りに皆に会いたいです。（も）

発行所

〒三五八〇〇〇三 埼玉県入間市豊岡一―一五―一
埼玉県立豊岡高等学校 同窓会報編集委員会
TEL 〇四―二九六二―五二二六 FAX 〇四―二九六〇―一〇五三
メールアドレス f625216@pref.saitama.lg.jp

博志 下野 博志 下野 博志 下野
人々 員宏 哲子 幸浩 和美
編集 立田 原中 本美
足黒 高田 橋山